

# ワル★エール

Vol.40

## 令和8年度 高次脳機能障害 入門講座（前期） のご案内

地域ガエルと申します。  
「地域に帰る（地域リハビリテ-ションの推進）」をモットーにしている、地域リハビリテ-ション推進センターのPRキャラクターです。

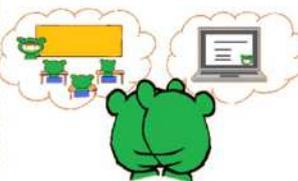


「高次脳機能障害 入門講座」では、高次脳機能障害の症状や対応方法、回復に向けてのポイント、利用できる制度やサービス等について、わかりやすくお伝えします！！

会場開催日	テーマ・内容	会場開催時間	オンライン受講期間
5月15日（金）	高次脳機能障害とは	10時～11時	開催日から 3週間
6月19日（金）	注意障害・記憶障害・遂行機能障害		
7月17日（金）	社会的行動障害		
8月21日（金）	失語症		
9月18日（金）	就労に向けて		

### えらべる 受講スタイル

会場	オンライン
COCO・てらす （4階、研修室1）	YouTubeチャンネル限定 公開によりオンデマンド でご視聴いただけます。

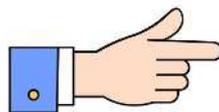


高次脳機能障害は、脳の病気や事故等により、脳が損傷することで起こる認知機能の障害です。

今まで見られなかった症状が現れ、日常生活や社会生活にさまざまな困難が生じます。脳の傷は外からはわかりにくいので、周囲から障害への理解を得ることが難しいです。

高次脳機能障害のある方や  
そのご家族、支援者、高次脳機能  
障害に関心のある方にご参加いた  
だけます。

申込方法などの詳細は、「京都市  
高次脳機能障害者支援センター  
ホームページ」をご覧ください。



ホームページ、申込フォーム  
はこちら



ホームページ



申込みフォーム

多くの方のご参加を  
お待ちしております！！



京都市高次脳機能障害者支援センター

☎ 075-925-6256

高次脳機能障害者支援法が令和8年4月1日から施行されます。



# よくわかる！



## 障害者支援施設 の訓練プログラム紹介

京都市地域リハビリテーション推進センターの障害者支援施設はCOCO・てらすの4、5階にあります。当施設では、18歳以上の高次脳機能障害の診断を受けた方が、日常生活の自立や就労・復学などの社会参加につながるよう支援を行っています。今回は、集団で行う「運動プログラム」についてご紹介します。



### マットストレッチ

目的：柔軟性や筋活動の維持・改善

場所：体育館

実施日時：月・金1コマ目（9:50～10:30）

担当職員：理学療法士・作業療法士・支援員

内容：準備体操、ウォーミングアップのための周回歩行の後、マットでストレッチを行います。それぞれの状態に応じて、ゆっくり時間をかけて、筋肉を伸ばします。また、うつ伏せや正座、膝立ちなどの姿勢になり、筋活動を高める運動を行います。



### バランスアップ

目的：バランス能力や支持性の維持・向上

場所：体育館

実施日時：火・木1コマ目（9:50～10:30）

担当職員：理学療法士・作業療法士・支援員

内容：準備体操、ウォーミングアップのための周回歩行の後、横歩きや片足立ちなど、俊敏性や下肢の支持性を高める運動をします。ボール運動ではペアになってキックボールやキャッチボール、ドリブルを行います。初めはうまくできない方も、慣れてくると上手にできるようになります。



## 月・水曜日の様子



金曜日のプログラムは、月・水曜日とは少し異なり、主に立位での筋トレを行っています。立位姿勢をしっかりと保つことを意識しながらトレーニングをしています。その後は、体育館の清掃もプログラムとして行っています。



## お手軽筋トレ

目的：筋力の維持・向上

場所：体育館

実施日時：月2コマ目（10:40～11:20）

水1コマ目（9:50～10:30）

金2コマ目（10:40～11:20）

担当職員：理学療法士・作業療法士・支援員

内容：椅子に座って行います。まずは準備運動として、軽く体を動かし、ストレッチをしてから行います。お手軽筋トレは簡単な動きですが、息づかいや筋肉を意識しながら、カウントに合わせてゆっくり動かすと、意外と筋肉に効いてきます。

## 金曜日の様子



## 京都市地域リハビリテーション推進センター 障害者支援施設 概要

- ◆ 利用対象者：18歳以上で高次脳機能障害を有する方
- ◆ 利用定員：入所又は通所での自立訓練（機能訓練25名、生活訓練15名。うち、施設入所支援20名。短期入所も行っていきます。）
- ◆ 利用期間：個々の課題や目標に応じて、機能訓練は最長1年6カ月、生活訓練は最長2年
- ◆ お問合せ先：京都市高次脳機能障害者支援センター  
TEL：075-925-6256 FAX：075-925-6472

ご好評いただいています

# 当センターの事業紹介

## 「体力測定 & からだの相談」



反復横跳び



長座体前屈

身体障害者・療育・精神保健福祉手帳をお持ちの18歳以上の京都市民の方を対象に「体力測定 & からだの相談」を毎年開催しています。

## 「障害福祉サービス事業所等訪問支援事業」



移乗介助方法



基本動作介助方法

当センターのリハビリ専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）が、事業所等に訪問し、個々の利用者の状況を確認しながら、生活上の困り事やからだの状態に応じた運動や活動プログラムの提案、介助方法の助言等を行います。

利用者のお困りごとや事業に興味のある方は是非ご相談ください。

京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課



075-925-7800

地域リハ推進ホームページ→



リハエールに関するご意見等はこちら↓  
E-mail: [rehabili@city.kyoto.lg.jp](mailto:rehabili@city.kyoto.lg.jp)  
TEL: 075-925-5736

リハエール40号（令和8年3月発行）  
京都市印刷物第 072211 号  
発行：京都市地域リハビリテーション推進センター  
〒604-8845  
京都市中京区壬生東高田町1番地の20

【土、日、祝祭日を除く午前8:30～12:00、午後1:00～5:00】